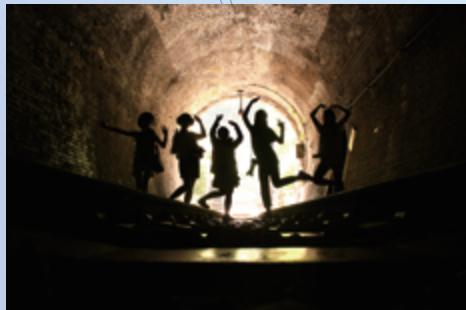
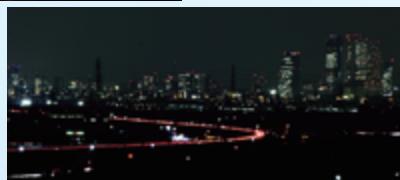
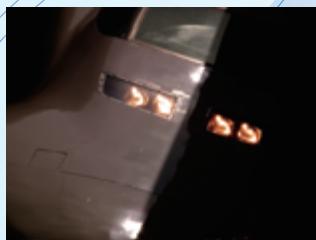
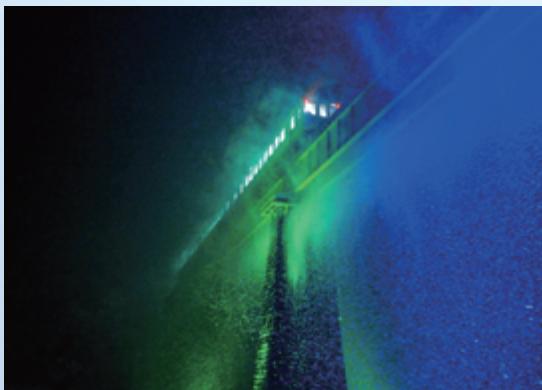


TAMRON®

産業の眼を創造貢献するタムロン

株主通信

第68期 報告書



2014年 1月 1日



2014年12月31日



NEW Diシリーズ Model A012

Contents

ごあいさつ	1-2
Zoom up (特集)	3-4
トピックス	5-6
セグメント別事業の概況	7-8
連結財務ハイライト	9-10
連結財務諸表	11-12
フォトコンテスト開催報告	13
会社情報	14



代表取締役社長 **小野守男**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第68期(2014年1月1日~2014年12月31日)の営業概況についてご報告申し上げます。

当期における世界経済を概観しますと、米国経済は、雇用・所得環境の改善傾向が継続し、個人消費が底堅く推移する等、緩やかな回復基調が継続いたしました。欧州経済は、年初から持ち直し基調が継続しておりましたが、年後半から欧州経済の牽引役であるドイツ経済に景況感の悪化等による停滞も見られました。またロシア経済はルーブル安や足元の原油価格下落等、厳しい状況が継続いたしました。中国経済は、消費は堅調に推移いたしました。不動産市況の冷え込みから投資・生産が伸び悩み、成長率は減速いたしました。

一方わが国経済は、企業収益の改善を背景に雇用・所得環境の改善等、緩やかな回復基調となりましたが、消費税率

引き上げや急激な円安による物価上昇等により、消費者マインドの弱さも見られました。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場では、レンズ一体型カメラの出荷台数は前期に比べ約4割減と大幅減少が継続いたしました。レンズ交換式カメラはミラーレスタイプが堅調に推移いたしました。一眼レフタイプが中国等では回復感が見られたものの、欧州での需要の回復遅れ等により、前期に比べ約2割減と厳しい状況で推移いたしました。レンズ交換式カメラの減少に伴い、交換レンズも前期に比べ約1割減となりました。

このような状況の下、当社グループの当期における経営成績は、自社ブランド交換レンズが新製品投入効果等により国内外ともに好調に推移し、ドル、ユーロの円安基調の継続による為替影響もあったことから、売上高は736億21百万円(前期比7.6%増)と過去最高売上高を達成いたしました。

利益面につきましても、為替影響があったことに加え、自社ブランド交換レンズの新製品投入効果等により売上総利益率が改善し、営業利益は60億76百万円(前期比16.1%増)、経常利益は62億円(前期比19.3%増)、当期純利益は38億46百万円(前期比20.3%増)となり、増収増益を達成いたしました。

次期の見通しについて

次期の国内外の景気動向につきましては、緩やかな回復基調が継続するものと思われませんが、国内においては消費マインドの低迷や為替相場の動向、海外においては地政学的リスクや原油価格下落の影響、中国やその他新興国経済の先行き不安等が懸念されます。

当社グループ関連市場であるデジタルカメラ市場におきましては、レンズ一体型タイプは市場縮小の継続が予想されますが、レンズ交換式タイプは徐々に回復していくものと予想されます。

当社といたしましては、画期的な新機種投入等により、写真関連事業では引き続き自社ブランド交換レンズの業績拡大を図り、特機関連事業では中国市場での業績回復を図ってまいります。

これらの状況を踏まえ、次期の連結業績につきましては、売上高785億円(前期比6.6%増)、営業利益66億円(前期比8.6%増)、経常利益64億円(前期比3.2%増)、当期純利益42億円(前期比9.2%増)と2期連続増収増益を見込んでおります。

※本見通しの前提為替レートにつきましては、1米ドル=115円、1ユーロ=135円としております。

配当金について

期末配当金につきましては、1株当たり普通配当30円とさせていただきます。これにより、当期の1株当たり年間配当金は前期と同額の50円(中間配当金20円)となり、配当性向(連結)は35.7%となりました。

また、次期の配当につきましては、今期に比べて5円増配となる1株当たり55円の年間配当を予定しております。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2015年3月

Zoom up

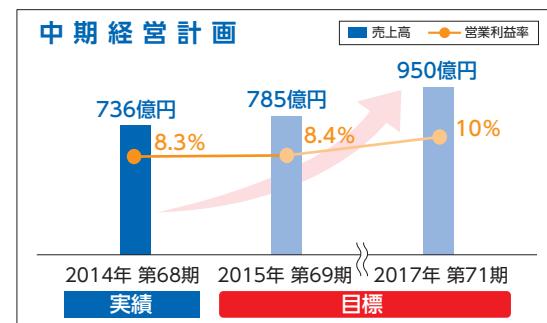
特集 中期経営計画について

▶ ブランドメッセージ 産業の眼を創造貢献するタムロン

▶ 中期目標(2017年)

売上高：**950**億円
営業利益：**95**億円
(営業利益率: 10%)
R O E：**10**%以上

■ 中期の見通しについて



▶ 中期経営計画 Q&A

Q 具体的な内容についてお聞かせください。

目標数値としては、2017年の売上高950億円、営業利益率10%に加え、ROE10%以上という目標を新たに掲げました。

主力の写真関連事業では、自社ブランド交換レンズの新製品をコンスタントに供給したことで、厳しい市場環境の中、2014年の業績拡大を実現いたしました。今後も画期的な新製品を逐次投入してまいります。また、レンズ専門メーカーとして、性能やデザイン等ブランド力に磨きをかけ、2本目、3本目の交換レンズの潜在需要を掘り起こしてまいります。

また、世界中で需要が拡大している監視カメラ用レンズで

は、技術革新による差別化、中国市場の取り込みを図り、更なる業績拡大を図ってまいります。

さらに、車載や遠赤外線関連事業の軌道化、「共創」による新事業展開を強化してまいります。

Q 生産体制についてお聞かせください。

生産体制では、2013年に稼働したベトナム工場の黒字化を目指します。離職率の低さからタムロンの高度な技術の移管も可能であり、早期の黒字化を実現し、コスト対応工場として、原価低減を図ってまいります。

▶ セグメント別中期目標

写真関連事業

売上高目標：**680**億円 (売上構成比71.6%)

重点課題

- ・自社ブランドにおける画期的な新製品の順次投入
- ・新製品の立上げ体制の確立
- ・新興国市場の販売体制強化、マーケットシェア拡大
- ・ブランド力(性能・デザイン)の向上、潜在需要を呼び起こす施策の強化



レンズ関連事業

売上高目標：**45**億円 (売上構成比4.7%)

重点課題

- ・高付加価値製品に特化、コスト競争回避し、利益確保
- ・得意分野を生かした新たなマーケットの創出
- ・遠赤外線光学系レンズのコストダウンと受注強化
→有力カメラメーカーとの共同開発



特機関連事業

売上高目標：**225**億円 (売上構成比23.7%)

重点課題

- ・監視カメラ用レンズの技術革新による全世界での販売強化
- ・共創による新事業の推進
- ・センシング(画像認識)用途レンズへの注力等による車載関連事業の軌道化
- ・屋外監視や夜間監視など新規分野のビジネス強化
- ・中国市場に対応した開発・販売体制の構築、中国市場向け商品の投入



Topics トピックス

高倍率ズームレンズ累計生産本数500万本を達成!

当社は、1992年の「Model 71D」発売以来、焦点レンジの拡張、軽量・コンパクト化、デジタル一眼レフカメラへの対応、手ブレ補正機構「VC」の搭載、超音波モーター「PZD」の導入など、「高倍率ズームレンズのパイオニア」として革新的な開発を続けてまいりました。その成果として、2014年9月末時点で高倍率ズームレンズ累計生産本数500万本を達成いたしました。

1992~
第1世代
導入期

1996
171D
28-200mm (2代目)
最短撮影距離を短縮

1992
71D
28-200mm (初代)
実用的な小型化に成功

2000
371D
28-200mm (3代目)
最短撮影距離
ズーム全域 0.49m

1999
185D
28-300mm (初代)
実用的な小型化に成功

2001~
第2世代
小型化促進期

2002
A06
28-300mm XR (2代目)
画期的な小型化に成功
フィルター径φ72mm
→φ62mm

2001
A03
28-200mm XR (4代目)
画期的な小型化に成功
フィルター径φ72mm
→φ62mm

2004~
第3世代
デジタル技術
導入期

2004
A061
28-300mm Di (3代目)
デジタル対応設計

2006
A031
28-200mm Di (5代目)
デジタル対応設計

2005
A14
18-200mm Di II
初のデジタル専用
設計 (APS-Cサイズ)

2007
A18
18-250mm Di II
ズーム倍率13.9倍

2007~
第4世代
VC (手ブレ補正)
導入期

2008
B003
18-270mm Di II VC (初代)
VC搭載、ズーム倍率15倍

2007
A20
28-300mm Di VC (4代目)
タムロン初の VC搭載

2010~
第5世代
VC (手ブレ補正)
小型化促進&
新アクチュエーター
導入期

2011
B011
18-200mm Di III VC
タムロン初ミラーレス用設計
ステッピングモーター搭載

2010
B008
18-270mm Di II VC PZD (2代目)
VC搭載で小型軽量
超音波モーター「PZD」搭載

2014~
第6世代
新デザイン&
フルタイムMF搭載
500万本達成

A010
28-300mm Di VC PZD (5代目)
A20後継機種
簡易防滴・超音波モーター「PZD」搭載

B016
16-300mm Di II VC PZD
世界最大ズーム倍率
約18.8倍! 簡易防滴・
超音波モーター「PZD」搭載・
マクロ対応

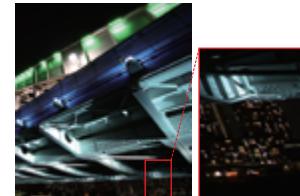
世界初、手ブレ補正機構「VC」を搭載した大口径超広角ズームレンズを新発売

『SP 15-30mm F/2.8 Di VC USD (Model A012)』

2014年12月、高度な設計思想を反映したタムロンの最高峰、SP (Super Performance) レンズに、待望の超広角ズームレンズ15-30mmが登場。視覚を越えた圧倒的なパース効果で雄大な風景をよりダイナミックに表現できる15mmの広角端はもちろん、焦点距離30mmまでの全域において極めて高い描写力を実現しました。



超ワイドな世界を高画質で表現



超広角レンズで目立ちやすいレンズの諸収差を高度に補正。高解像力でクリアな描写を実現し、高画質なワイド表現が可能です。

大口径を活かした超広角ズームのボケ表現



ズーム全域で最短撮影距離28cmを達成。超広角域と最短撮影距離を組み合わせ、ワイドマクロの写真を楽しむことも可能です。

特機関連

5メガピクセル・NIR対応標準バリアフォーカルレンズ「1/1.8型 4-13mm F/1.5 (Model M118VM413R / M118VG413R)」発売



受賞
「EISAアワード」9年連続受賞、
2年連続2機種同時受賞の快挙!

レンズ関連

VC機能 (光学防振) 搭載
高機能選赤外対応ズームレンズ「35-105mm F/1.0 (Model LGZ3X3510V)」開発発表

特機関連

超高性能3.1μmピクセルピッチ・イメージセンサー対応工業用単焦点レンズ「1.1型 50mm F/1.8 (Model M111FM50)」開発発表

特機関連

2メガピクセル対応超高性能FA/マシビジョン用単焦点レンズ「1/1.8型 6mm F/1.4 (Model M118FM06)」
「1/1.8型 12mm F/1.4 (Model M118FM12)」発売

写真関連

手ブレ補正機構「VC」を搭載した超広角ズームレンズ「SP 15-30mm F/2.8 Di VC USD (Model A012)」発売

2014

7月
July

8月
August

9月
September

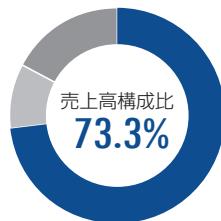
10月
October

11月
November

12月
December

写真関連事業

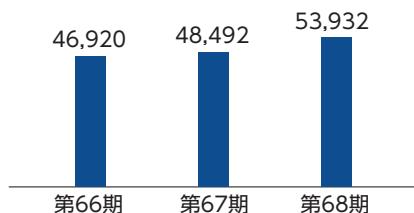
写真関連事業は、厳しい市場環境が継続いたしました。自社ブランド交換レンズが2013年末から順次発売した計5機種の新製品投入効果等により、日本、欧州、米国、中国の主要市場全てにおいて現地通貨ベースで増収を達成する等、好調に推移し、為替影響を除いても増収増益となりました。



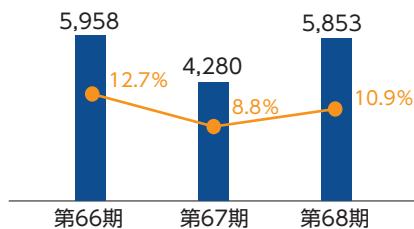
新製品につきましては、EISAアワードを2機種同時受賞した、フルサイズ対応の超望遠ズームレンズ SP150-600mm VC USD (A011)と、世界初のズーム倍率となる約18.8倍を達成した超高倍率ズームレンズ 16-300mm VC PZD (B016)が、発売当初から好調を維持し、業績を牽引いたしました。

このような結果、写真関連事業の売上高は539億32百万円(前期比11.2%増)、営業利益は58億53百万円(前期比36.7%増)となりました。

売上高 (百万円)

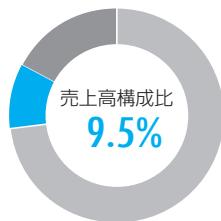


営業利益(百万円)／営業利益率(%)



レンズ関連事業

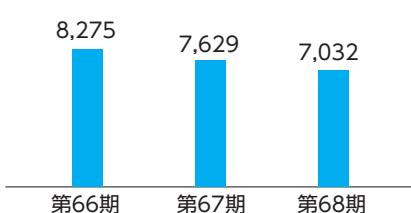
レンズ関連事業は、スマートフォンの台頭によるコンパクトデジタルカメラやデジタルビデオカメラ市場の大幅縮小の影響により、減収となりました。高付加価値製品の受注強化を図ったこと等により、市場全体の縮小幅に比べ小幅な落ち込みにとどまりました。



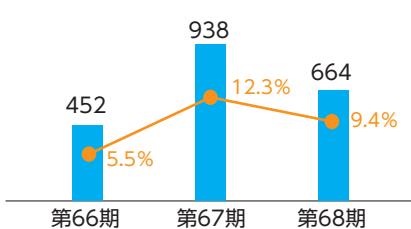
このような結果、レンズ関連事業の売上高は70億32百万円(前期比7.8%減)となり、営業利益は6億64百万円(前期比29.2%減)となりました。



売上高 (百万円)

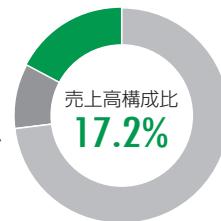


営業利益(百万円)／営業利益率(%)



特機関連事業

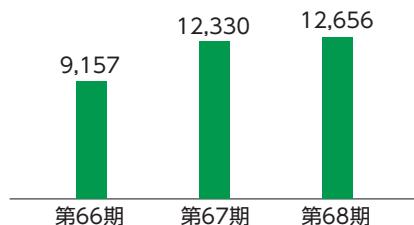
特機関連事業は、中国市場においては競争激化の影響により業績が低迷いたしました。世界的な監視カメラ市場の拡大及びネットワークカメラに対応した監視カメラ用レンズの販売注力等により、その他地域においては引き続き業績を拡大したこと等により増収を確保いたしました。



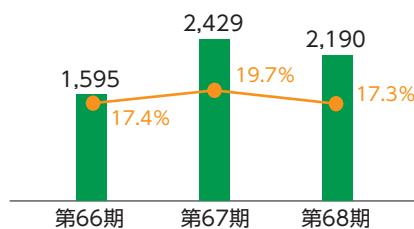
このような結果、特機関連事業の売上高は126億56百万円(前期比2.6%増)、営業利益は21億90百万円(前期比9.8%減)となりました。



売上高 (百万円)



営業利益(百万円)／営業利益率(%)



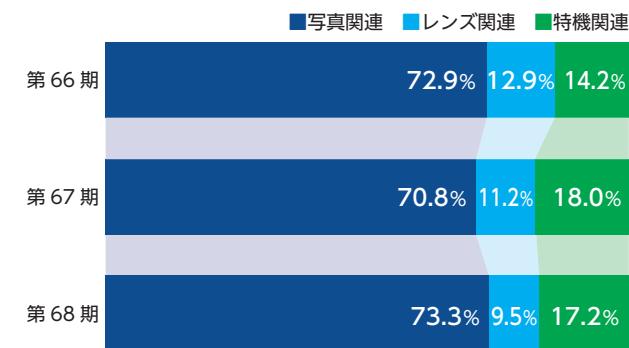
セグメント別データの推移

(百万円)

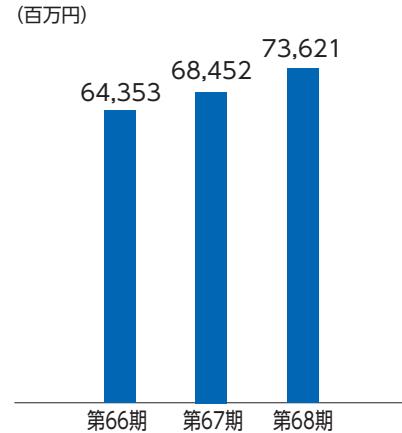
	第66期	第67期	第68期	
写真関連	売上高	46,920	48,492	53,932
	セグメント利益	5,958	4,280	5,853
レンズ関連	売上高	8,275	7,629	7,032
	セグメント利益	452	938	664
特機関連	売上高	9,157	12,330	12,656
	セグメント利益	1,595	2,429	2,190
セグメント利益の調整額	△ 2,503	△ 2,415	△ 2,632	
連結営業利益	5,503	5,233	6,076	

※セグメント利益の調整額は、当社の総務、経理等の本社部門に係わる配賦不能営業費用等です。

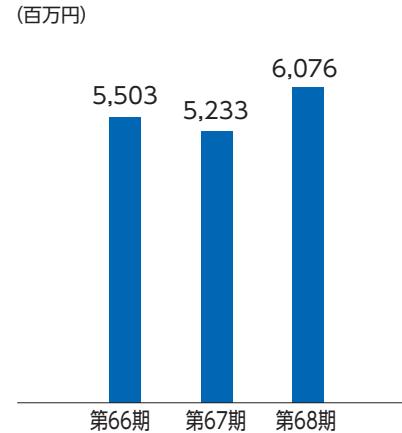
連結売上高構成比率の推移



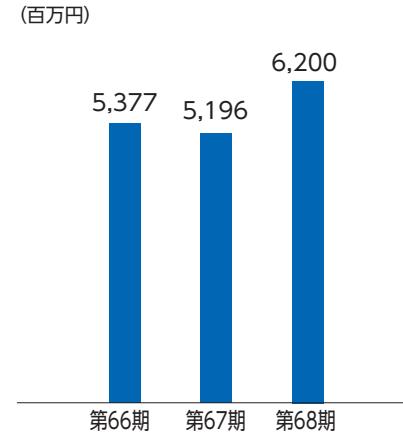
売上高 前期比 **↑7.6%**



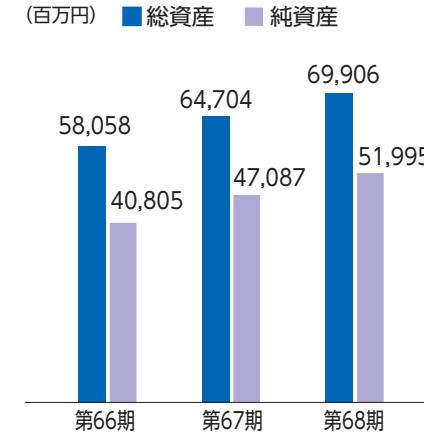
営業利益 前期比 **↑16.1%**



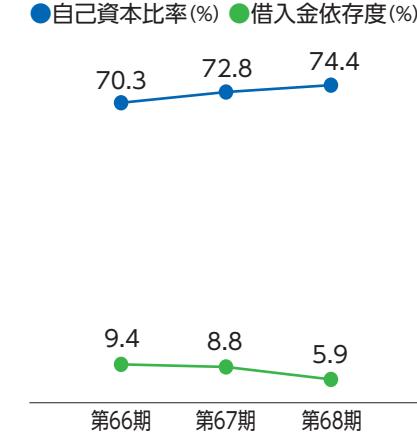
経常利益 前期比 **↑19.3%**



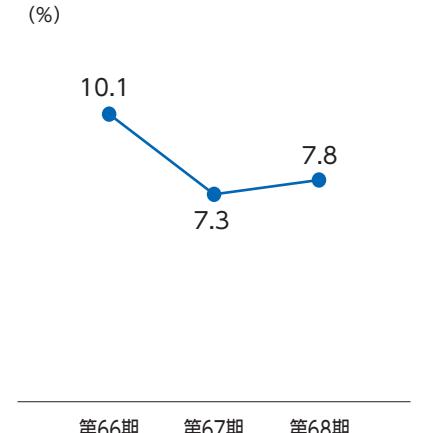
総資産・純資産



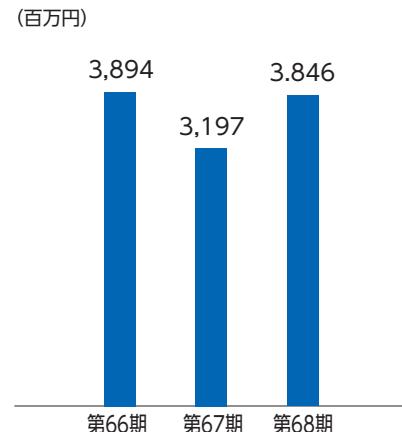
自己資本比率/借入金依存度



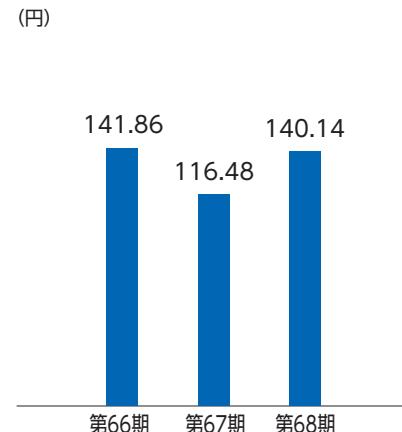
ROE



当期純利益 前期比 **↑20.3%**



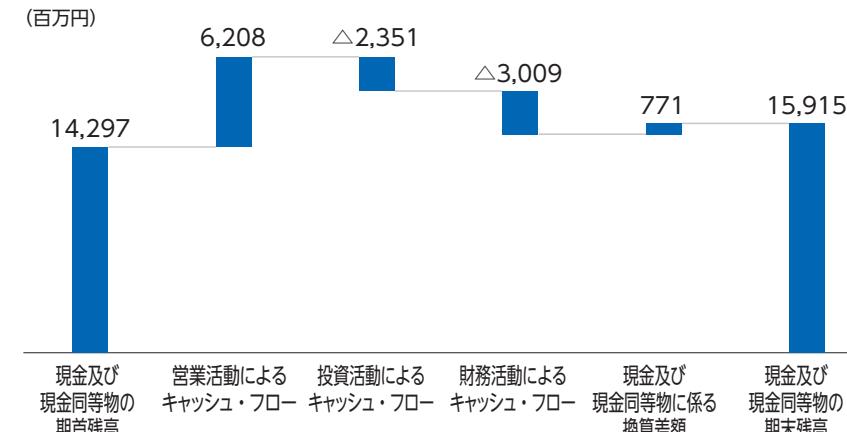
1株当たり当期純利益



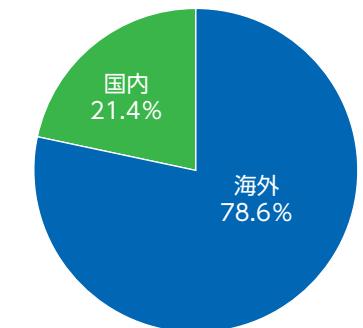
1株当たり配当金/配当性向



キャッシュ・フロー (第68期)



海外売上高比率 (第68期)



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(2014年12月31日現在)	(2013年12月31日現在)
資産の部		
① 流動資産	46,955	41,758
② 固定資産	22,950	22,945
③ 資産合計	69,906	64,704
負債の部		
④ 流動負債	14,602	14,144
⑤ 固定負債	3,308	3,471
⑥ 負債合計	17,911	17,616
純資産の部		
株主資本	45,883	43,409
その他の包括利益累計額	6,111	3,678
⑦ 純資産合計	51,995	47,087
負債純資産合計	69,906	64,704

Point

① 流動資産

現金及び預金が16億18百万円、受取手形及び売掛金が37億54百万円増加したことにより、流動資産は51億97百万円増加し、469億55百万円となりました。

② 固定資産

固定資産は前期末に比べ4百万円増加し、229億50百万円となりました。

③ 総資産

総資産は前期末に比べ52億2百万円増加し、699億6百万円となりました。

④ 流動負債

短期借入金が13億7百万円減少した一方、買掛金が8億4百万円、未払法人税等が4億5百万円、その他の流動負債が5億56百万円増加したこと等により、流動負債は4億58百万円増加し、146億2百万円となりました。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(2014年1月1日から2014年12月31日まで)	(2013年1月1日から2013年12月31日まで)
売上高	73,621	68,452
売上原価	50,053	47,510
売上総利益	23,568	20,941
販売費及び一般管理費	17,492	15,708
営業利益	6,076	5,233
営業外収益	335	290
営業外費用	211	326
経常利益	6,200	5,196
特別損失	89	364
税金等調整前当期純利益	6,110	4,831
法人税等	2,263	1,634
少数株主損益調整前当期純利益	3,846	3,197
当期純利益	3,846	3,197

⑤ 固定負債

長期借入金が3億9百万円減少したこと等により、固定負債は1億63百万円減少し、33億8百万円となりました。

⑥ 負債合計

前期末に比べ2億95百万円増加し、179億11百万円となりました。

⑦ 純資産

利益剰余金が24億74百万円、為替換算調整勘定が24億89百万円増加したこと等により、純資産は前期末に比べ49億7百万円増加し、519億95百万円となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当期	前期
	(2014年1月1日から2014年12月31日まで)	(2013年1月1日から2013年12月31日まで)
⑧ 営業活動によるキャッシュ・フロー	6,208	9,602
⑨ 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,351	△ 6,041
⑩ 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,009	△ 1,324
現金及び現金同等物に係る換算差額	771	1,238
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,618	3,474
現金及び現金同等物の期首残高	14,297	10,822
現金及び現金同等物の期末残高	15,915	14,297

Point

⑧ 営業活動によるキャッシュ・フロー

売上債権の増加額が24億15百万円となった一方、税金等調整前当期純利益が61億10百万円、減価償却費が38億12百万円、たな卸資産の減少額が12億14百万円となったこと等により、営業活動によるキャッシュ・フローは62億8百万円の収入(前期は96億2百万円の収入)となりました。

⑨ 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出が22億50百万円となったこと等により、投資活動によるキャッシュ・フローは23億51百万円の支出(前期は60億41百万円の支出)となりました。

⑩ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入れによる収入が10億円となった一方、短期借入金の減少額が12億3百万円、長期借入金の返済による支出が14億32百万円、配当金の支払額が13億73百万円あったこと等により、財務活動によるキャッシュ・フローは30億9百万円の支出(前期は13億24百万円の支出)となりました。

連結株主資本等変動計算書

(2014年1月1日から2014年12月31日まで)

(単位:百万円)

項目	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
2014年1月1日残高	6,923	7,432	29,135	△81	43,409	370	3,308	—	3,678	47,087
当期変動額										
剰余金の配当			△1,372		△1,372				—	△1,372
当期純利益			3,846		3,846				—	3,846
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—	96	2,489	△152	2,433	2,433
当期変動額合計	—	—	2,474	—	2,474	96	2,489	△152	2,433	4,907
2014年12月31日残高	6,923	7,432	31,609	△81	45,883	466	5,797	△152	6,111	51,995



フォトコンテスト開催報告

鉄道風景コンテスト



鉄道のまち大宮（さいたま市）に本社を置く企業として、さいたま市、さいたま市教育委員会、さいたま商工会議所のご後援をいただき、地域の活性化と鉄道文化の振興に貢献することを目的として「タムロン鉄道風景コンテスト」を開催しています。

第7回目となる今回、応募人数1,909名、応募総作品数7,000点と、昨年を上回る多くの方にご応募いただきました。鉄道写真家 広田尚敬氏と、フォトライター「鉄子」として人気の矢野直美氏により厳正な審査が行われ、全87名の方が入賞されました。



一般の部 大賞受賞作品（さいたま市長賞）
樋口 精一 様「カラフルシャワー」



小・中・高校生の部 大賞受賞作品（さいたま市教育委員会教育長賞）
養田 純奈 様「光と影とカメラ女子」

マクロレンズフォトコンテスト



マクロレンズフォトコンテストは、マクロレンズのPR及び普及を目的に2004年から毎年開催しているものです。このコンテストの特徴としては、当社のマクロレンズはもちろんのこと、マクロレンズであればメーカーを問わず、旧モデルも含めて広く作品を募集していることにあります。分野はネイチャー部門とノンジャンル部門を設定しています。

第11回目となる今回も、応募人数1,753名、応募総作品数4,806点にのぼるご応募をいただきました。ネイチャーの部は江口慎一氏、ノンジャンルの部は川合麻紀氏により厳正な審査が行われ、全29名の方が入賞されました。



グランプリ受賞作品
参木 正之 様「光溢れる地」

タムロン高倍率ズームレンズ公式Facebookページ

Facebook（フェイスブック）タムロン高倍率ズームレンズ公式ページよりタムロンレンズの製品情報や活用方法などを発信しておりますので、ぜひご覧ください。



タムロン高倍率ズームレンズ公式Facebookページ

ページ名 TAMRON高倍率ズームレンズ

URL <http://www.facebook.com/tamron.highpowerzoom>

会社情報

会社概要 2014年12月31日現在

商号 株式会社タムロン
創業 1950年11月1日
設立 1952年10月27日
本社 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
資本金 69億23百万円
従業員数 2,694名(連結)

役員 2015年3月27日現在

代表取締役社長 小野 守男
取締役副社長 白井 義博
取締役副社長 長島 久明
取締役副社長 鯉坂 司郎
専務取締役 新井 宏明
専務取締役 志村 忠寛
専務取締役 大瀬 英世
常務取締役 濱田 憲一
常務取締役 市川 敬
常務取締役 川鍋 宏
取締役 阿保 正行
取締役 桜庭 省吾
取締役 増成 弘治
取締役 清水 秀雄*
取締役 横瀬 三亀夫*
常勤監査役 土屋 次男
常勤監査役 並木 孝行*
監査役 利根 忠博*
監査役 西本 恭彦*

注1. *印の取締役は社外取締役、監査役は社外監査役であります。
注2. 当社は、取締役 清水 秀雄、取締役 横瀬 三亀夫及び監査役 並木 孝行を東京証券取引所の定める独立役員として、同取引所に対し届け出しています。

株式の状況 2014年12月31日現在

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 27,500,000株
単元株式数 100株
株主数 5,595名 ※単元未満除く

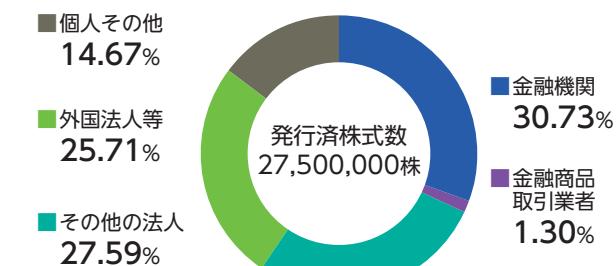
■大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
株式会社ニューウェル	4,898	17.81
ソニー株式会社	3,129	11.38
BNP PARIBAS SEC SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/ ABERDEEN GLOBAL CLIENT ASSETS	1,880	6.83
株式会社宏友興産	1,529	5.56
JP MORGAN CHASE BANK 385174	1,524	5.54
株式会社埼玉りそな銀行	1,122	4.08
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	595	2.16
日本生命保険相互会社	580	2.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	486	1.76
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	329	1.19

注. ソニー株式会社の持株数3,129千株は、みずほ信託銀行株式会社へ委託した信託財産であります。信託約款上、議決権の行使並びに処分権については、ソニー株式会社が指図権を留保しております。

■株式所有者別分布

※単元未満除く



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	定時株主総会 毎年 12月31日 期末配当 毎年 12月31日 中間配当 毎年 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) ※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告 ※ ただし、電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。 当社ホームページ http://www.tamron.co.jp

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株式会社タムロン

〒337-8556 埼玉県さいたま市見沼区蓮沼1385番地
TEL 048-684-9111(代) FAX 048-683-8289 <http://www.tamron.co.jp>

■ IR情報関連に関するお問い合わせ：経営企画室

TEL 048-684-9114(午前9:00~午後5:20) FAX 048-683-8282 e-mail: kabushiki@tamron.co.jp

ホームページのご紹介

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、商品のご紹介からIR情報に至るまでの様々な情報を掲載しています。ぜひご活用ください。

主な掲載コンテンツ

- 企業情報
- 製品一覧
- IR情報
- CSR
- 採用情報
- お問い合わせ

タムロン トップページ

URL <http://www.tamron.co.jp>



タムロン フォトサイト

URL http://www.tamron.co.jp/index_p.html



UD FONT
by MORISAWA

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



本冊子は環境保全のため、植物油インキで印刷しています。